

# 令和3年度 事業報告

## 甲寿園

### 1. はじめに

昨年度1月の新型コロナウイルス感染症の集団感染（以下、クラスター）発生を経て、各事業が回復に向けて進もうとしていた矢先の4月、他のフロアで再びクラスターが発生しました。コロナ感染の第3波に続き第4波でも、感染したご利用者の入院が出来ないという事態に見舞われました。デイサービス、ショートステイの事業運営を縮小し感染者のおられるフロアに人員を投入したほか、法人各拠点からの応援も得て、まさしく法人の総力を挙げて感染拡大を抑えることに取り組みました。

第1四半期は、クラスター対応およびその後の事業復旧のうちに過ぎました。また、今年度の1月にもクラスターが発生し、第4四半期も同様の状況となりました。本来であれば第2第3四半期の半年間は、事業運営の通常化が図られねばならなかったのですが、前年度末に脆弱となってしまった職員体制の確保が不十分なまま、稼働率等経営上の大きな課題を残して年度を終える結果となりました。

経営上の大きな課題を抱えており改善が急務ではありますが、「拠点内4つの事業が連携して補いあい事業継続を行う」という年度当初に掲げた方針は、くしくもコロナ禍のなかで強固なものとなり遂行できたと感じています。以下、各事業計画に沿って令和3年度の事業を総括し報告いたします。

### 2. 事業報告

法人の理念に沿い甲寿園各部署及び全体においてご利用者の個人を尊重することを重視し、ご利用者個々の安心安全な生活を丁寧に援助する意識をもってサービス提供を行います。

⇒ご利用者の尊厳の重視等に関わる利用者サービスについて、昨年からの法人全体の取り組みでもある虐待防止の観点から、各部署で取り組みました。具体的には、年間を通じて各委員会、各会議等で不適切ケアについて考える機会を設けたほか、全職員対象のアンケートを実施しました。

#### 1) 特別養護老人ホーム

(ア) 特別養護老人ホーム(定員168名)の入居者は年間を通じて1日平均163名、利用率97%を目標とします。

コロナ禍においてはご利用者個々の背景や感染対策の観点も踏まえて健康状態の把握をより詳しく行い各フロアの状況も見極め、安全な入居予定を決定します。(PCR検査または抗原検査の検討、入居後2週間の居室観察の実行)

#### 利用状況 入居計画委員会(定期・随時)開催 17回

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度
1日平均	162	155.7	151.9	155.1	157.4	155.9	151.9	149.8	154.3	152	151.3	154.3	154.3	163.2
利用率%	96.4	92.7	90.4	92.3	93.7	92.8	90.4	89.2	91.8	90.5	90.1	91.8	91.8	97.1

#### 利用者の介護度の状況

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
実人数	0	1	59	63	34	157
割合%	0	0.6	37.6	40.1	21.7	100

(3月末)

#### 利用者の男女数

男性	17	女性	140	合計	157
----	----	----	-----	----	-----

#### 待機者の状況

(3月末)

男性	100	女性	166	合計	266
----	-----	----	-----	----	-----

⇒利用率97%の目標に対し、91.8%の実績でした。4月と1月のクラスター発生の影響と入居希望者の減少が主な要因です。安全な入居に関しては、入居時に抗原検査を実施しました。年度当初は2週間実施していた入居後の居室観察期間を1週間に短縮し、入居者の負担を軽減できるよう改めました。

(イ) 施設内における感染標準予防策の徹底を行います。

ご入居者に関わる職員が常に感染対策の意識を維持できるよう介護場面において意識づけを行います。(感染対策掲示物の更新・健康チェック・申し送り・個別消毒液携帯等の継続)

⇒市中の感染拡大状況や疑いを含む関係者の感染状況に応じて「緊急感染会議」を開催し、事業活動の制限や緩和を繰り返し行い、全園に周知徹底しました。今年度も出勤前の検温を継続し、体調に不安のある時はまず電話にて相談することを徹底しました。事務所内では毎日、利用者の発熱状況を共有しました。個別消毒液の携帯は、意識づけに役立ちました。

(ウ) 令和3年度中にケアプラン作成を、各フロア援助員兼務で行っているケアマネから、施設ケアマネと援助員が協同で行う作成方法に変更していきます。

⇒部分的に実施できました。計画した作成方法に変更するため、新たなアセスメントシートは完成し運用をはじめましたが、プラン作成に関しては移行途中段階です。(年間を通じて感染症対応やそれに伴うフロアをまたいだ応援体制をとったことにより、検討や共同作業の機会が確保できませんでした。)

(エ) 甲寿園入居者の安心な暮らしを支える為ネット環境を利用し、直接の面会等が難しい状況であればオンライン面会を継続します。利用者の日常の様子なども動画や写真等を通してお伝えします。相談室及び各部署が協同で、利用者、家族、甲寿園とのつながりを今までと同じように大切にしていきます。

⇒市中の感染状況が落ち着いている期間は、面会の機会が確保できるよう面会方法を柔軟に変更し、感染対策との両立に努めました。オンライン面会だけでなく、日々のご様子を動画や写真で送り、ご家族に安心していただけるよう努めました。

(オ) 施設における感染対策を生活相談室を窓口利用者・家族に理解していただき安心して暮らした暮らしに繋がるサービス提供を行います。

⇒コロナ禍で制限事項も増えたため、面会方法の変更等の丁寧な説明に努めました。また、食事内容、フロア行事、リハビリの様子などもあわせた近況報告をメッセージアプリを通じて行い、家族に安心してもらえるようにしました。

(カ) 利用者個人の尊厳を守るケアについて職員間の気づきや研修を通して学ぶ環境を作ります。

⇒今年度も、オンデマンドの研修でいつでも学べる環境を作りました。気づきを通して学ぶことに関しては、具体的な環境を作るには至りませんでした。

## 2) 在宅支援課

### 通所介護

(ア) 1日24名 年間平均80%を目標とします。

⇒目標に対して1日平均17.1名、年間平均56.8%となりました。新型コロナウイルス感染症予防等で長期間利用休止される方が多く見られたことや、特養ホームでのクラスター対応の応援のため、5月に約1カ月間の事業休止を行ったことで他事業所への利用に切り替えられた方などの影響がありました。新規利用契約についても、契約頂いたもののコロナ禍により利用自粛が続き、利用に至らず終了となる方も居られました。

(イ) 自立支援を目標としつつまた来たいと思っていただけるサービス提供を行います。

⇒個別機能訓練に加え集団活動や創作などを実施提供したことで、利用される方々の生活サイクルの一部に組み入れられ、デイに来られることを楽しみにしているとの声もたくさん頂きました。

(ウ) 報酬改定を機に、各種加算・事業実施時間を見直します。

⇒令和3年度報酬改定にともない「個別機能訓練加算II」「科学的介護推進体制加算」の算定を開始しました。ただし、職員体制の関係上、個別機能訓練に関しては年度途中で算定を中止しました。事業実施時間の見直しについては今後も検討を重ねていきます。

(エ) 甲寿園短期入所生活介護との連携を促進します。

⇒甲寿園の通所介護・短期入所を併用されている方も居られるため、情報の共有を中心に連携を図りました。生活の継続性やサービスの質向上の観点から連携をさらに促進し、ひいては両事業の利用率向上につなが

るよう努めます。

## デイサービス利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度
開所日	20	5	26	27	25	26	26	26	27	24	24	27	24	26
1日平均利用者	17.8	7.8	16.3	18.1	18.5	18.6	19.1	18.2	18.2	17.0	16.8	18.2	17.1	21.7
利用率%	59.3	26.0	54.3	60.3	61.7	62.0	63.7	60.7	60.7	56.7	55.8	60.5	56.8	72.3
介護予防(実数)	38	5	40	54	63	47	44	27	36	28	21	30	36.1	72.1

## 短期入所

- (ア) コロナ感染の影響で縮小した利用率を下半期には100%に回復させ、月単位利用率の平均80%を目標にします。
- ⇒平均80%の目標に対し、53.5%の実績にとどまりました。予約の段階では70%程度の予約があるものの、2回のクラスター発生や、利用者・職員の発熱等での感染疑いの場合を含めその都度、事業実施を縮小してきた影響が出ました。
- (イ) 感染対策としてゾーニングをより有意義に発展させ、ショートステイでのユニットケアを実践します。
- ⇒北館2階におけるゾーニングが定着し原則的に援助員配置もショートに固定しています。職員や利用者の動線がコンパクトになり情報共有もしやすくなりました。感染対策や居住空間としてのクオリティを上げる観点から、ユニットの出入り口整備の補助金の利用を検討しましたが、要件を満たさず見送りました。次年度に再検討します。
- (ウ) あらゆる業務手順を見直し作業の省力化を図ることで、個別ケアの対応力を高めます。
- ⇒看護・介護ともに入退所時の連絡や記録に関する項目の簡略化を行いました。さらなる見直しを進めていきます。
- (エ) 甲寿園通所介護事業所との連携を促進させます。
- ⇒感染症への対応として、極力接点を減らすことに取り組んだため、具体的な連携促進は図れませんでした。

## 利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度
1日平均	7.2	3.0	4.7	8.3	8.7	8.7	8.3	9.7	10.5	6.3	5.5	8.8	7.5	10.7
利用率%	51.4	21.6	33.3	59.2	62.4	62.1	59.5	69.3	75.1	44.7	39.3	63.1	53.5	76.4

## 緊急ショート利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度
相談件数	2	2	1	2	1	2	2	2	3	2	7	2	2.3	6
緊急受入件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.1	6

## 居宅介護支援

- (ア) 介護支援専門員1名あたりの件数(要介護35件、認定調査8件、介護予防8件)に対し、90%の実績を目標とします。
- ⇒要介護、介護予防に関し、計画通りに目標達成できました。認定調査件数については、コロナの影響で延期や訪問中止があり、月平均6.5件にとどまりました。
- (イ) 介護支援専門員の基本業務を質高く遂行するとともに、事業所として個々の利用者との関係を築きます。
- ⇒コロナ禍も相まって不測の事態も多々ありましたが、事業所として個々の利用者との向き合い関係構築に努め、誠意をもって対応いたしました。
- (ウ) 新型コロナウイルス感染症に係る制度上の臨時的措置を的確に把握し不測の事態に柔軟に対応できるよう、関係機関との連携情報共有を密にします。在宅ワークの環境も整えます。

⇒新型コロナウイルス感染症について制度を理解し、感染されたご利用者・ご家族に対して不利益の無いよう、サービス事業所との情報共有、サービス調整や病院とのやり取りに尽力しました。在宅ワークの環境も整え、タブレット端末を活用し、在宅ワークやオンライン会議、オンライン研修に対応しました。

(エ) 地域における課題を把握するとともに、解決のための資源開発や関係構築に対して主体的に行動します。

⇒地域での研修参加等、事業所同士の関係構築に努めましたが、研修の主催等、主体的に動くには至りませんでした。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度
ケアプラン数	140	127	141	134	134	137	146	146	145	153	145	149	141.1	140.2
予防プラン数	55	51	56	55	55	49	52	52	60	55	45	52	53.1	50.8
ケアマネ人数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

### 3) 看護課

(ア) 新型コロナウイルス感染症対応においても常勤医師、嘱託医師、看護師の連携におけるそれぞれの役割を明確にし、ご利用者の健康維持管理及び疾病の早期発見と対応を素早く行えるよう努めます

⇒新型コロナウイルス感染症対応において、法人間連携が行われ西宮すなご医療福祉センターより、医師及び看護師の応援を得ることができました。ご利用者の体調報告を毎日欠かさずことなく事務所に連絡しました。

(イ) 感染対策に係る専門知識をもって、施設における感染防止に努めます。

⇒看護職が中心になり、感染防止に努めました。クラスター発生時に兵庫県看護協会より、感染管理認定看護師の派遣を受け、指導及び助言を受けました。また、感染対策の手技について、年間を通じ看護職が中心となって他職種への伝達に努めました。

(ウ) 感染対策の基本的なマニュアルを職員全体で共有し標準予防を徹底できるよう指導します。

⇒マニュアルに基づき指導を繰り返して行いました。

(エ) 看護課係長、看護主任を中心に特養・短期入所・通所における利用者及び職員の安心につながる看護体制を確保します。

⇒係長・主任の配置がないなか、利用者及び職員の安心につながるよう努めました。看護体制の確保に難航し、体制加算を外すことを余儀なくされましたが、次年度はほぼ想定した人員体制で迎えられる予定です。

### 4) 栄養室

(ア) ご利用者にとって安全で日々の楽しみとなるようなおいしい食事の提供及び新しい食のイベントを計画します。

⇒実行できました。全国郷土料理巡り(月1回、全国各地の郷土料理を献立化して提供)や夏祭り(フロアごとで、屋台を設置して実施)など、新しいイベントを実施することができました。

(イ) 嗜好調査等で利用者の食環境の現状把握を年間を通して行います。

⇒計画通り実施しました。

(ウ) 口から食べる楽しみを維持できるようにご利用者に適した食形態の見直しを行い、経口維持計画に沿ってケアを行います。

⇒食形態の見直しを行い、経口維持計画を作成し計画に沿うケアを実施しました。

### 5) リハビリテーション室

(ア) 感染対策を取りながら、特養における小集団及び個別設定でのクラブ活動を行います。

⇒クラスターの影響を受けた時期以外は、感染対策をとりながら、継続してクラブ活動を行うことができました。

(イ) 感染状況を見極めながら各部署毎でリハビリテーション委員、リフトマイスターとともにリフトの使用方法・指導方法の統一を図ります。

⇒リフトマイスターに関し、取り組みができたフロアとすずまなかつたフロアがあり、計画通りにはできませんでした。

(ウ) 上記及び従来行ってきたリハビリ活動や各部署交流を園内のネット環境の改善に沿い、端末機器を活用し

て行う取り組みを進めます。

⇒リハビリ活動や職員間の話し合い、ご家族への園での様子の写真送信などにタブレット端末を活用することができました。

## 6) 全体

### ・研修実習

(ア) 令和3年度中に人事評価制度に沿った研修体系を、法人研修課長と高齢4施設で取り組みを完成させ、甲寿園における研修に反映させます。

⇒高齢4施設で共通した研修体系を確立するため、高齢福祉事業部会で話し合ってきました。研修プログラムが完成し、令和4年度からはそれを活用し研修を実施していきます。

(イ) 甲寿園全体の研修について、オンデマンドによる研修を中心に組み立てます。

⇒園内外の研修はオンライン研修を中心に取り組むことができました。

(ウ) 採用した職員の研修において、個別で「プライバシー保護・個人情報の取り扱いの理解」「身体拘束排除の知識」「虐待防止に関する理解」「事故防止の知識」「感染症の予防と蔓延防止」の研修受講を基本とします。加えて未経験者に対しては「認知症の理解」「看取りケア」の研修を追加します。

⇒4月採用の新人職員には研修を実施できましたが、中途採用の職員に対しての研修は一部の研修しか実施できませんでした。

(エ) 感染対策の研修では感染マニュアルを基にフロアでのチェックを行います。昨年度末に行った「甲寿園・にしのみや苑合同の特養における感染対策」の会議の内容を反映させます。

⇒計画したことはできました。感染対策委員会が中心となり、各部署で動画を見ながら个人防护具（PPE）の着脱の研修を実施したほか、感染対策のオンデマンド研修などを行いました。

(オ) 虐待防止については職員個々が意識を持ち、年1回以上「甲寿園虐待防止マニュアル」確認後マニュアルに添付された自己チェックリストを行うことで、全職員の虐待防止の理解と周知徹底を行います。

⇒年度末に、甲寿園虐待防止マニュアルに添付されている自己チェックリストを全職員対象で行い、それぞれが自身のケアを振り返りました。また、年間を通じて各委員会、各会議等で不適切ケアについて考える機会を設けました。

(カ) 実習について実習先の学校と調整して、コロナ感染状況に即した受け入れを行います。

⇒見学実習の形をとり期間を短縮して行った実習もありましたが、緊急事態宣言等により、中断・中止になった実習が2件ありました。

(キ) 福祉を志す人材育成及び甲寿園における人材確保のため、前年度にも取り組んだウエブによるコロナ禍における新しい実習形態での受け入れも検討します。

⇒今年度は見学実習という形で受け入れを行いました。

(ク) 実習指導については、介護課長及び係長が中心となり、各学校との連携、調整を行います。

⇒前項の見学実習としての受け入れなど、綿密な連携・調整を行いました。

### ・事務

#### 施設事務（園の窓口として笑顔で明るく丁寧な接遇を行います）

(ア) 感染対策物品等の在庫管理を行い必要時に常に使用できるようにします。

⇒在庫管理を行い、必要時には迅速な対応ができました。

(イ) 事務業務（勤怠・請求・経理等）を円滑に遂行するとともに施設内各部署の連携が進むよう調整を行います。

⇒業務を分担し円滑に遂行しました。事務所が中心となって情報を共有し、各部署の連携ができるよう調整を行いました。

(ウ) 施設内の無駄を省きコスト削減が円滑に進むよう調整を行います。

⇒週1回、各部署から物品依頼書の提出を受け、発注チェックを行いました。

### 防災関係（管理部長との連携）

(ア) 法人防災危機管理・防災対策部会・甲寿園防災委員会が管理部長を中心に連携し、防災への備えを整えます。

⇒防災対策部会やKEAT等、法人の開催する会議に出席しました。甲寿園内では、老朽化した非常用照明の更新を行いました。

(イ) 甲山地区の住民の災害時の避難所としての役割を、鷲林寺地区の自治会を中心にコロナ禍における取組を協議します。

⇒コロナ禍のなか、自治会と協議する機会は持てませんでした。

(ウ) 甲寿園・にしのみや苑は福祉避難所として災害時に西宮市と連携を行います。

⇒具体的な進展や変更点はありませんでしたが、引き続き福祉避難所として西宮市との連携を行います。

### 備品、設備、環境整備（管理部長との連携）

甲寿園の建物等の修繕・及び物品購入計画は以下とします。工事については管理部長との連携の下進めていきます。

- ・北館エレベーター改修工事  
⇒上半期に完工しました。
- ・天井走行リフト更新及び備品の追加  
⇒下半期に契約完了しました。
- ・冷温水機ボイラー・ポンプ2台修繕  
⇒下半期に修繕しました。
- ・厨房機器更新（ライスロボ）  
⇒上半期に更新しました。
- ・ナースコール更新  
⇒上半期に着工、下半期に更新完了しました。
- ・食洗器用厨房ボイラー修繕  
⇒下半期に修繕しました。
- ・通所車両 2台（現リース満了に伴うリース更新）  
⇒上半期、下半期にそれぞれ1台リース更新しました。
- ・特養車両 1台（現リース満了に伴うリース再更新）  
⇒上半期にリース更新しました。

### ・ボランティア支援

(ア) 兵庫県下における感染状況のフェーズに基本的に沿い、ボランティアの受け入れ及び支援を行います。

⇒年間を通じて来園していただくことはできませんでしたが、ボランティアの方々がそれぞれの場所でカットしてくださった清拭用の布の引き取りに伺いました。

(イ) 4月にボランティア関係者へ甲寿園におけるボランティア活動の継続依頼の手紙を送付します。

⇒4月は集団感染の対応があったため、7月に手紙の郵送を行いました。

(ウ) ボランティア再開時は、コロナ禍においても継続できる新たなボランティア活動内容も含め、ボランティア活動をされる方の意見をお聞きしながら内容の調整を行います。

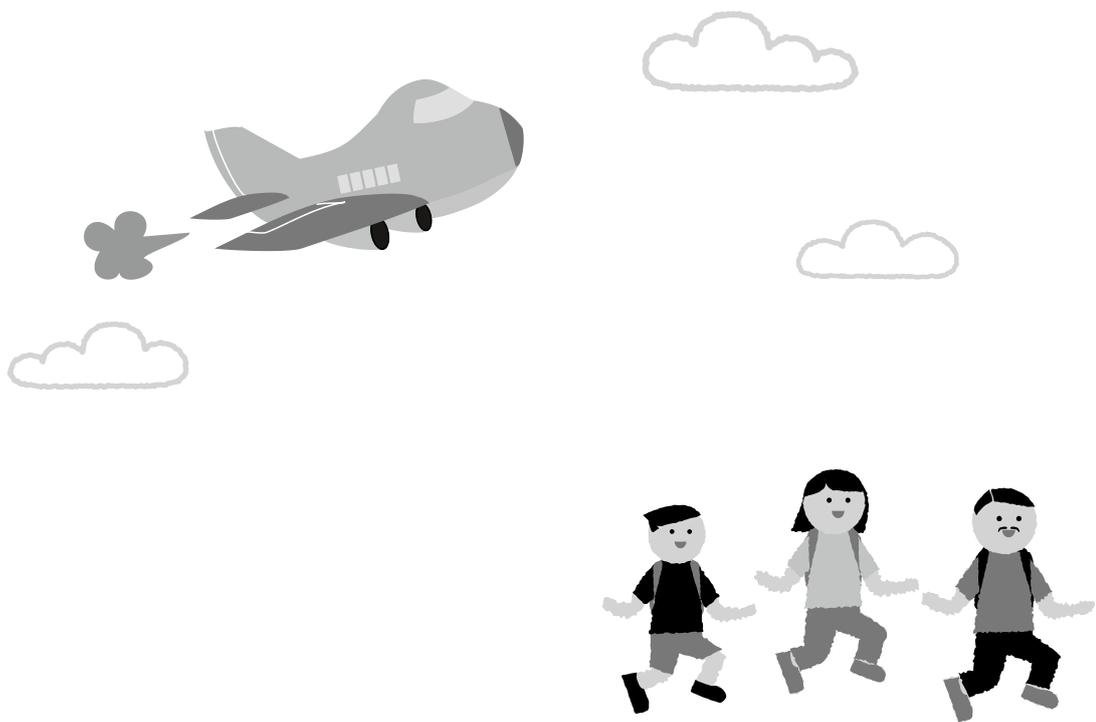
⇒再開の機会を持つことはできませんでしたが、法人のボランティア部会において、各拠点のボランティア活動状況などの情報共有を行いました。

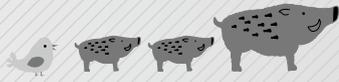
## ・地域貢献

- (ア) 感染対策を行いながら実行可能な活動場所及び活動方法を検討し兵庫県地域サポート施設としての役割を務めます。
- ⇒地域サポート施設の取り組みとして①集い場づくり、②施設所有の車両を使用して北夙川苦楽園・甲陽園地区高齢者の移動・外出支援を計画しました。②に関しては、にしのみや苑と協働し計3回ふれあい食事会への移送を実施しました。
- (イ) 地域交流スペースを使用した集い場としての支援及び地域活動における施設の使用方法及び内容を感染状況により調整を行い、活動可能か検討します。
- ⇒(ア)の①として、活動方法の検討はにしのみや苑と連携して行いましたが、活動までには至りませんでした。
- (ウ) 介護技術等の専門的な知識における貢献及び自治会活動におけるマンパワーの貢献を積み重ね地域とのつながりを深めます。
- ⇒コロナ禍以前に行ってきた介護技術講習会を想定しましたが、実施に至りませんでした。

## ・高齢分野・甲山地区における連携

- (ア) 研修課長及び研修部会と連携し、法人共通の等級基準に沿った中途採用者の育成にも活用できる人材育成プログラムを作ります。
- ⇒高齢分野の会議を定期的に行い、介護記録ソフトの見直しなど、各課題について検討しました。研修部会とも連携し、高齢分野で共通の人材育成プログラムを作成しました。次年度より運用予定です。
- (イ) 短期入所・通所介護事業所連絡協議会  
連絡会議を定期的を開催し、各事業所の管理者および相談員が昨年度共有化した相談員の役割（マニュアル）を基に相談業務を行います。
- ⇒原則、隔月で会議を行い、管理者及び相談員が連携を取りました。相談員の役割について共通化したマニュアルを周知し、相談業務に活用しました。
- (ウ) 居宅介護支援事業所連絡会議  
各事業所の管理者を中心に会議や研修会を開催し、ケアマネジメントの質の向上に繋がります。モニタリングやサービス担当者会議の開催時 ICT を活用できるよう勉強会やシミュレーションを実施します。
- ⇒令和3年度介護報酬改定に関する重要な変更点の共有、統一書式の変更などを管理者間で連携をして取り組みました。上半期コロナ禍における ICT の活用が進みました。下半期にはWeb 会議ツールを用いて勉強会を含めた連絡会議を開催しました。
- (エ) 甲山地区施設連絡会議
- ① 月に1回行われる甲山地区施設連絡協議会において甲寿園・にしのみや苑・北山学園3施設の管理職が連携を図ります。
- ⇒月に1回協議会を行い、3施設の管理職および法人本部が連携を取りました。
- ② 入居及び在宅関連部署、看護課、栄養室、事務所の情報交換及び連携を進めます。今年度は特に感染対応についての連携を密に行います。
- ⇒各部署で情報交換し連携をはかりました。とりわけ、感染対応下においてはインカムやタブレット端末を用いてタイムリーに情報共有を図ることができました。
- ③ 特養相談員連絡会議を随時行います。
- ⇒2回開催しました。8月はオンライン、1月には書面のやり取りにて開催しました。共通する入居申し込み者の情報交換は、随時行いました。





# 決算報告

令和3年度 貸借対照表

単位：円

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	418,913,658	流動負債	70,943,579
現金預金	258,936,251	事業未払金	22,004,334
現金	27,877	その他の未払金	2,500,000
預金	258,908,374	1年以内返済予定設備資金借入金	0
事業未収金	144,609,417	1年以内返済予定リース債務	658,368
未収金	2,500,000	未払費用	7,167,244
未収補助金	11,876,720	預り金	3,121,575
立替金	957,270	職員預り金	1,549,058
立替金	957,270	職員預り金	1,549,058
前払費用	34,000	賞与引当金	33,943,000
		固定負債	109,728
		設備資金借入金	0
		リース債務	109,728
		負債の部合計	71,053,307
固定資産	1,069,315,971	純資産の部	
基本財産	548,727,015	基本金	497,712,196
建物	548,727,015	国庫補助金等特別積立金	409,292,057
その他の固定資産	520,588,956	その他の積立金	251,043,000
建物	185,720,782	再建築積立金	20,000,000
構築物	13,112,567	人件費積立金	131,873,000
車輛運搬具	1,939,589	修繕積立金	71,270,000
器具及び備品	67,877,321	備品等購入積立金	27,900,000
有形リース資産	761,735	次期繰越活動増減差額	259,129,069
ソフトウェア	93,962	(うち当期活動増減差額)	△ 43,677,269
再建築積立資産	20,000,000	純資産の部合計	1,417,176,322
人件費積立資産	131,873,000		
修繕積立資産	71,270,000		
備品等購入積立資産	27,900,000		
保証金	40,000		
資産の部合計	1,488,229,629	負債及び純資産の部合計	1,488,229,629

令和3年度事業活動計算書

単位：円

勘定科目		当年度決算		
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	901,832,843	
		その他の事業収益	0	
		経常経費寄附金収益	1,882,550	
		サービス活動収益計(1)	903,715,393	
	費用		人件費	634,999,574
			事業費	146,970,272
			事務費	89,854,896
			利用者負担軽減額	2,161,527
			減価償却費	101,766,805
			国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 52,299,051
	サービス活動費用計(2)	923,454,023		
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 19,738,630		
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	9,956	
		受取利息配当金収益	34,481	
		その他のサービス活動外収益	3,421,310	
		サービス活動外収益計(4)	3,465,747	
	費用		支払利息	13,275
			その他のサービス活動外費用	5,091,111
	サービス活動外費用計(5)	5,104,386		
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△ 1,638,639		
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 21,377,269		
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	7,700,000	
		固定資産売却益	0	
		特別収益計(8)	7,700,000	
	費用		国庫補助金等特別積立金積立額	7,500,000
			拠点区分間繰入金費用	22,500,000
	特別費用計(9)	30,000,000		
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 22,300,000		
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 43,677,269		
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	256,806,338	
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	213,129,069	
		基本金取崩額(14)	0	
		その他の積立金取崩額(15)	46,000,000	
		その他の積立金積立額(16)	0	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)	259,129,069		

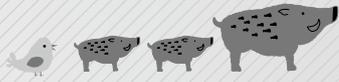


# 予算概要

## 令和4年度資金収支予算書

単位：円

勘定科目	本年度予算額
介護保険事業収入	958,711,000
借入金利息補助金収入	0
経常経費寄附金収入	350,000
受取利息配当金収入	34,000
その他の収入	4,690,000
事業活動収入計 (1)	967,785,000
人件費支出	611,800,000
事業費支出	149,750,000
事務費支出	78,628,000
利用者負担軽減額	2,170,000
支払利息支出	0
その他の支出	5,440,000
事業活動支出計 (2)	897,788,000
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	65,997,000
施設整備等補助金収入	0
施設整備等収入計 (4)	0
設備資金借入金元金償還支出	0
固定資産取得支出	20,400,000
ファイナンス・リース債務の返済支出	659,000
施設整備等支出計 (5)	21,059,000
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 21,059,000
積立資産取崩収入	20,400,000
その他の活動収入計 (7)	20,400,000
積立資産支出	40,000,000
拠点区分間繰入金支出	22,500,000
その他の活動支出計 (8)	62,500,000
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 42,100,000
予備費支出 (10)	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,838,000
前期末支払資金残高 (12)	0
当期末支払資金残高 (11)+(12)	2,838,000



# 甲寿園歳時記

## 令和3年 4月

日付	予 定
1日 木	法人辞令交付式(すなご) 甲寿園新人研修①
2日 金	甲寿園新人研修②
3日 土	
4日 日	
5日 月	甲山地区連絡協議会 臨時ケアプラン委員会
6日 火	サービス向上委員会 理事長事業方針説明会(甲寿園) 14:00~ 床走行リフトレクチャー16:00~
7日 水	
8日 木	北2(ロング)生活援助会議 北3生活援助会議 口腔ケアミニ研修(南3・北3) 事業方針説明会①
9日 金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議 事業方針説明会②
10日 土	
11日 日	
12日 月	事業方針説明会③
13日 火	入居検討委員会/看取り倫理委員会
14日 水	北2(ショート)生活援助会議 事務室会議
15日 木	南3生活援助会議
16日 金	設備会議
17日 土	
18日 日	
19日 月	安全衛生委員会 相談室会議
20日 火	セラピスト会議
21日 水	口腔ケア委員会
22日 木	臨時防災委員会
23日 金	業務連絡会議/係長会議 食事・褥瘡予防委員会
24日 土	
25日 日	
26日 月	
27日 火	
28日 水	甲寿園便り委員会
29日 木	
30日 金	

## 令和3年 5月

日付	予 定
1日 土	
2日 日	
3日 月	ケアプラン委員会
4日 火	身体拘束廃止・虐待防止委員会
5日 水	
6日 木	
7日 金	
8日 土	
9日 日	
10日 月	係長会議(4フロア)
11日 火	入居検討委員会/看取り倫理委員会
12日 水	ショート生活援助会議 事務室会議
13日 木	北3生活援助会議 北2生活援助会議
14日 金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議 栄養室会議
15日 土	
16日 日	
17日 月	安全衛生委員会
18日 火	セラピスト会議
19日 水	排泄委員会
20日 木	南3生活援助会議
21日 金	夏祭り委員会① 設備会議
22日 土	
23日 日	
24日 月	リハビリ委員会 相談室会議
25日 火	
26日 水	甲寿園便り委員会
27日 木	
28日 金	業務連絡会議/係長会議 感染対策委員会
29日 土	
30日 日	
31日 月	

## 令和3年 6月

日付	予 定
1日 火	サービス向上委員会
2日 水	消防設備点検9:00~
3日 木	一般検診①(にしのみや苑) 9:30~11:30
4日 金	夏祭り委員会②
5日 土	
6日 日	
7日 月	理事会 山地区連絡協議会
8日 火	入居検討委員会/看取り倫理委員会
9日 水	防災委員会 ショート生活援助会議 事務室会議
10日 木	北3生活援助会議 北2生活援助会議 一般検診②(にしのみや苑) 14:00~16:00
11日 金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議 栄養室会議
12日 土	
13日 日	
14日 月	
15日 火	セラピスト会議 係長会議(4フロア)
16日 水	口腔ケア委員会
17日 木	南3生活援助会議
18日 金	設備会議
19日 土	
20日 日	
21日 月	安全衛生委員会 相談室会議
22日 火	リスクマネジメント委員会
23日 水	甲寿園便り委員会
24日 木	研修委員会 園内研修
25日 金	業務連絡会議/係長会議 食事・褥瘡予防委員会
26日 土	
27日 日	
28日 月	夏祭り委員会③
29日 火	
30日 水	

## 令和3年 7月

日付	予 定
1日 木	
2日 金	
3日 土	
4日 日	
5日 月	ケアプラン委員会
6日 火	身体拘束廃止・虐待防止委員会
7日 水	身新人フォローアップ研修9:30~11:30 不要書類処分日
8日 木	北3生活援助会議 北2生活援助会議
9日 金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議 栄養室会議
10日 土	
11日 日	
12日 月	係長会議(4フロア)
13日 火	入居検討委員会/看取り倫理委員会
14日 水	ショート生活援助会議 事務室会議 就職出前プレゼンテーション(神戸リハビリテーション専門学校)
15日 木	南3生活援助会議 口腔ケアミニ研修(南2・北2)
16日 金	設備会議
17日 土	
18日 日	
19日 月	安全衛生委員会
20日 火	セラピスト会議
21日 水	排泄委員会
22日 木	夏祭り
23日 金	感染対策委員会
24日 土	
25日 日	
26日 月	リハビリ委員会 相談室会議
27日 火	
28日 水	甲寿園便り委員会
29日 木	
30日 金	業務連絡会議/係長会議
31日 土	

## 令和3年 8月

日付	予 定
1日 日	
2日 月	臨時ケアプラン委員会(対面)
3日 火	サービス向上委員会
4日 水	実習指導委員会 山地区連絡協議会
5日 木	
6日 金	
7日 土	
8日 日	南2夏祭り
9日 月	係長会議(4フロア) 17:30~
10日 火	入居検討委員会/看取り倫理委員会
11日 水	防災委員会 ショート生活援助会議 事務室会議 北2・ショート夏祭り
12日 木	北3生活援助会議 北2生活援助会議 口腔ケアミニ研修(南3・北3)
13日 金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議 栄養室会議
14日 土	
15日 日	
16日 月	安全衛生委員会
17日 火	セラピスト会議 甲子園短期大学最終カンファレンス 10:00~
18日 水	口腔ケア委員会
19日 木	南3生活援助会議
20日 金	設備会議
21日 土	
22日 日	
23日 月	相談室会議
24日 火	リスクマネジメント委員会
25日 水	甲寿園便り委員会
26日 木	研修委員会 園内研修 北3夏祭り
27日 金	業務連絡会議/係長会議 食事・褥瘡予防委員会 法人新人研修 14:00~15:30
28日 土	
29日 日	
30日 月	
31日 火	

## 令和3年 9月

日付	予 定
1日 水	避難訓練予定(南3階のみ)
2日 木	南3夏祭り
3日 金	歓びの会委員会①
4日 土	
5日 日	
6日 月	ケアプラン委員会
7日 火	身体拘束廃止・虐待防止委員会
8日 水	ショート生活援助会議 事務室会議
9日 木	北3生活援助会議 北2生活援助会議
10日 金	南2生活援助会議 デイサービス職員会議 栄養室会議
11日 土	
12日 日	
13日 月	係長会議(4フロア)
14日 火	入居検討委員会/看取り倫理委員会
15日 水	排泄委員会 実践研究発表原稿締め切り
16日 木	南3生活援助会議 口腔ケアミニ研修(南2・北2)
17日 金	設備会議
18日 土	
19日 日	
20日 月	歓びの会 安全衛生委員会 相談室会議
21日 火	セラピスト会議
22日 水	甲寿園便り委員会
23日 木	
24日 金	業務連絡会議/係長会議 感染対策委員会 理事会
25日 土	
26日 日	
27日 月	リハビリ委員会
28日 火	
29日 水	
30日 木	



### 令和3年 10月

日付	予 定
1日	金
2日	土
3日	日
4日	月
5日	火
6日	水
7日	木
8日	金
9日	土
10日	日
11日	月
12日	火
13日	水
14日	木
15日	金
16日	土
17日	日
18日	月
19日	火
20日	水
21日	木
22日	金
23日	土
24日	日
25日	月
26日	火
27日	水
28日	木
29日	金
30日	土
31日	日

### 令和3年 11月

日付	予 定
1日	月
2日	火
3日	水
4日	木
5日	金
6日	土
7日	日
8日	月
9日	火
10日	水
11日	木
12日	金
13日	土
14日	日
15日	月
16日	火
17日	水
18日	木
19日	金
20日	土
21日	日
22日	月
23日	火
24日	水
25日	木
26日	金
27日	土
28日	日
29日	月
30日	火

### 令和3年 12月

日付	予 定
1日	水
2日	木
3日	金
4日	土
5日	日
6日	月
7日	火
8日	水
9日	木
10日	金
11日	土
12日	日
13日	月
14日	火
15日	水
16日	木
17日	金
18日	土
19日	日
20日	月
21日	火
22日	水
23日	木
24日	金
25日	土
26日	日
27日	月
28日	火
29日	水
30日	木
31日	金

### 令和4年 1月

日付	予 定
1日	土
2日	日
3日	月
4日	火
5日	水
6日	木
7日	金
8日	土
9日	日
10日	月
11日	火
12日	水
13日	木
14日	金
15日	土
16日	日
17日	月
18日	火
19日	水
20日	木
21日	金
22日	土
23日	日
24日	月
25日	火
26日	水
27日	木
28日	金
29日	土
30日	日
31日	月

### 令和4年 2月

日付	予 定
1日	火
2日	水
3日	木
4日	金
5日	土
6日	日
7日	月
8日	火
9日	水
10日	木
11日	金
12日	土
13日	日
14日	月
15日	火
16日	水
17日	木
18日	金
19日	土
20日	日
21日	月
22日	火
23日	水
24日	木
25日	金
26日	土
27日	日
28日	月

### 令和4年 3月

日付	予 定
1日	火
2日	水
3日	木
4日	金
5日	土
6日	日
7日	月
8日	火
9日	水
10日	木
11日	金
12日	土
13日	日
14日	月
15日	火
16日	水
17日	木
18日	金
19日	土
20日	日
21日	月
22日	火
23日	水
24日	木
25日	金
26日	土
27日	日
28日	月
29日	火
30日	水
31日	木